

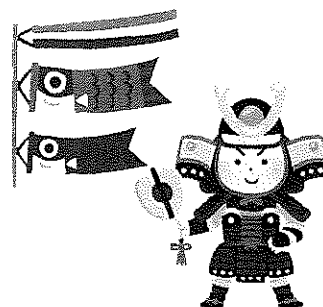
5月の給食だより

2025年4月30日 ひまわりやすにしこども園

爽やかな5月。園庭では子どもたちが、こいのぼりに負けないくらい元気よく走り回っています。入園・進級から1カ月が経とうとしています。それぞれ環境が変わり、緊張していた子どもたちも少しずつ慣れてきたころではないでしょうか。慣れてきたと同時に疲れも出てくる頃です。生活リズムが乱れると体調も崩しやすいので、規則正しい生活を心がけましょう。

端午の節句

「端午の節句」は、男の子の出世と健やかな成長を願う重要な日です。奈良時代から続く古い行事で、菖浦で厄を払い無病息災を願うものでした。これが男の子の節句として定着したのは鎌倉時代以降です。菖浦は「尚武＝武を尊ぶ」意味につながることから鎧兜や鯉のぼりを飾り、勇ましくお祝いする習慣が出来たのです。



かしわもち



「柏餅」は、新芽が出るまで古い葉が落ちない「柏」の気になぞらえ、「子孫が絶えずに、末永く続きますように」という、お家繁栄の願いを込められています。平く丸めた上新粉の餅を半分におって柏の葉で挟んだ和菓子です。

園でも5月2日のおやつに柏餅を食べる予定です。

ちまき



ちまきはもち米やうるち米、米粉などで作られた餅を笹の葉などで包んで蒸したものです。今までは笹の葉などに包まれているちまきですが、以前は茅(ちがや)という葉で巻かれており、中国で茅が邪気を払うものとされていたことから、「悪いことが起こらないように」という願いを込めて食べられるようになりました。

そら豆の皮むき(ひまわり組さん)



ひまわり組さんに、旬の食材「そら豆」の皮むきに挑戦してもらいました。固くて大きなそら豆。両手でしっかりと握って、ぐっと力を入れ、一生懸命向いている子どもたち。「見てみてー！豆がおっきいよ」「中がふわふわだー！」とみんな大盛り上がりで色々な感想を聞かせてくれました。むいてもらったそら豆はその日のおやつに食べました。

